

2024年9月21日(土):第2回富谷複合施設パートナーズミーティング ワークシート
「私が考える富谷らしい市民の関わり方」

- 本との出会いのほかに、あらゆる世代の方々との出会い、つながりが生まれ、孤立しない関わり方
- スイーツを食べながらいろいろな年代の人と話し合えるスペースをつくる。(スイーツ作りながら話すのもあり)
- 妄想を現実に
 - 3Dプリンタでものづくり
 - 新しい名物、お土産
- フラッと立ち寄って飛び込みでボランティアも(カフェ、図書館、お手伝いで1日過ごせる)
- 子どもたちが年代を超えて集える場所
- ~子は宝、ママはもっと宝!!~
 - ママが私らしく子育てができる、ママが元気に笑顔で生きられる、第3の居場所をつくること!!!
- 若い市わくわく図書館(気軽に行ってみたいと思うこといっぱい)
- できること、できる形で、見つけられる、参加できる。
- 学生(子ども含)主体の活動
 - フレッシュなアイデアを大人が学ぶ
- 施設内だけにとどまらない活動
 - 企画して外部へ(公園とか商業施設もフィールドにする)
- 子どもから大人まで楽しく交流できる場
 - スイーツ販売の企画
 - 遊びのスペースの見守り、ワークショップ企画
 - 本の整理(スイーツ・音楽の本コーナー)
 - 多世代、他地域で
- 昔から富谷に住んでいる人も、新しく住みはじめた人も、互いに仲良く集うことができると良いですね!
- 自分の持っている知識やできることをイベントやボランティアに生かす。
- 複数のボランティア団体が活躍できる場の提供
- 既存のボランティアとの融合
- 様々な世代との活発なコミュニケーション
 - 伝統文化、料理、昔話を伝える
 - はやりのモノ、好きな本、歌などの共有
- 図書館は、本がたくさんあり、目を使う場所です。カラーユニバーサルデザインについて

て、みんなで考えて勉強する会を開いてほしい。

- ワークショップや体験をたくさんできる場所にするため、市民が先生になったり、生徒になったりできるように、入りやすいボランティアを設立したらよい。
- 自然と健康、スイーツと健康=コミュニティの場所（心と体にやさしい時間づくり）
- 子育てをしている方が気軽に施設を利用できる雰囲気づくりができる。ボランティア活動が楽しくできる。